



## 詳述公共 新訂版

東京都立上野高等学校 主任教諭  
石浦 昌之

新科目「公共」がスタートして早3年目、先生方におかれましては、指導実践を日々積み重ねて来られたことと思います。旧版の『詳述公共』は、「倫理」「政治」「経済」「国際」分野の学習内容をバランスよく網羅した上で、選択科目「倫理」「政治・経済」につながる発展的内容を盛り込み、大学入学共通テスト科目「公共、倫理」「公共、政治・経済」の学習事項を効率よく学べる教科書として、広くご活用いただいております。

改訂版の『詳述公共 新訂版』は、主題に関する課題の解決策を多面的・多角的に考察することができる従来の教科書の特長を引き継ぐと共に、最新の学習事項や諸外国の取り組みを追加し、さらなる内容の充実をはかっています。

まず、第1編「公共の扉」の学習に入る前に、新たな導入ページ「「公共」をはじめ」が設けられました。SNSやAIなど、情報・コミュニケーション技術が日々発展するなかで、様々なグローバル／ローカル・イシューに直面する私たちが、自分とは異なるものの見方・考え方をする人々と共に生きていくために、開かれた公共空間にどのように関わっていけばよいのか、1年間の「公共」学習のねらいが冒頭に示されています。そして、教科書をより見やすくするため、判型をA5からB5変型へと改め、図・写真などのビジュアル資料を充実させました。各章冒頭のIntroductionでは、左頁にリード文、右頁に思考実験や統計資料、写真を配置し、それらを「Q」に従って読み取ることで、大単元の主題について大まかな現状と課題をつかむことができます。小単元では、各節の冒頭に主題に関連する写真・資料が置かれ、リード文と共に生徒の興味・関心をひき、授業の導入として活用することができます。

また、適宜置かれた「Point」で本文の重要事項をおさえ、「Check」に従って図版や資料の情報を読み取る技能と思考力を身に付けることができます。さらに、各節の最後に置かれた「Try」では、本文で学んだ知識を確認すると共に、学んだことを活用し、考察して表現することができます。このように、課題を発見し、情報を分析して発表するという主体的・対話的で深い学び、すなわち探究的な学びが、本書を通じて可能になるのです。

課題解決に向けたテーマ学習の題材も豊富に用意しています。「Trial」では、「正しい行為とはどのような行為かー帰結主義と義務論ー」「多数決の長所と短所とは」など8つの思考実験や倫理的な課題を通して、考える力を身に付けることができます。さらに「Active」では、「財政再建をどのように進めるべきか」「少子高齢社会の社会保障はどうあるべきか」など16の現実社会の諸課題について、資料読解を通じて考えることができます（QRコードでアニメーション動画なども活用できます）。第2編「よりよい社会の形成に参加する私たち」を、学習指導要領が示す13主題に則して学習するための「テーマ学習ガイド」も掲載されており、生徒の関心に応じて、深掘りするテーマを選ぶことも可能です。

最新の話題や動向を解説する「Seminar」には「ダイナミック・プライシング」のような新たなトピックを加え、政治のしくみや経済の理論をわかりやすく解説する「Q&A」も引き続き充実させました。「ミュニシパリズム」など諸外国の取り組みを紹介する「Case」は新設となります。

最後の第3編「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」は、課題の設定から、情報の収集と読み取り・分析、課題の探究、自分の考えの説明、論述までを、マンガを通じて平易に理解することができます。

以上のように、生徒が主体的な学びを実現し、入試に向けた資料読解力、思考力・判断力・表現力を養う工夫に富んだ、詳細な本書を、ぜひ現場でご活用いただければ幸いです。